



★今月の言葉「財産」:「真の友は最大の財産であり、また、最も得がたい財産である。」

ラ・ロシュフコー (フランスの作家) の言葉に共感です。

## 特別記事

●「遺贈の力」: 全国3例目の「横浜こどもホスピスプロジェクト」はある方の遺贈から…

- ・病と闘う子どもと、その親を支えるNPO「スマイルキッズ」の代表である田川さんのもとに2013年3月、突然電話があり「2,500万円を振り込むので…」と言われました。そこから始まった「こどもホスピスプロジェクト」このプロジェクトに賛同された方などから寄せられた寄付が3億円にのぼり、遺贈された方の意志が具体的な形になって行く。
- ・遺贈とは? 法定相続にかかわらずできるその方法と、遺贈の目的が詳しくわかります。しかし、遺贈はとてもデリケートな問題です。12頁の「遺贈を考えておられる方へ」を参考に。

★羅針盤:「私のお金教育」=ファイナンシャルプランナー・大石千絵さん

お金に振り回されることなく、自分の意志で、目的をもって、お金をコントロールするとは? そもそもお金とは何か?の問いに「お金は道具である」という視点に納得。



★愛に出会った!「愛の法則」 ホノルル・キリスト教会 関 真土 牧師 18頁

- ・天才物理学者アインシュタインは「現段階では、科学がその正式な説明を発見していない、ある極めて強力な力がある。それは、他のすべてを含み、かつ支配する力であり、宇宙で作用しているどんな現象の背後にも存在し、しかも私たちにとってまだ特定されていない。この宇宙的な力は愛だ『愛は神であり、神は愛だ』と娘への手紙に書いた」

★「旅人の視点」: ヨーロッパ文明はローマ帝国を基盤としている 稲田 豊牧師 23頁

- ・ポストモダンと呼ばれる今日、今後の世界を動かすのはどのような力か? 歴史的視点から、カトリック教会とアメリカ、この両者の関係がどうなるのかに注目する…。

★思秋期における人間関係…「縦の人間関係と横の人間関係」 老年精神科医・和田秀樹 28頁

- ・「嫌われる勇気」で日本でもおなじみになったアルフレッド・アドラーという精神科医は、上司と部下とか、親と子どもであっても、上下という縦の関係ではなく対等であるという横の関係の方が望ましいと主張しました。その意味と実際に…ナルホド!

★ヴィーガン男子のひとりごと…「ヴィーガンでも食べられる肉」ダンテ・オレール(小学校教師)

- ・温室効果ガスの51%は畜産から放出されている。驚きです…そこから考えられた肉は?

★「生きること信じること」35頁: 生きる意味が分からず酒に逃げ道を求めていた樋口さんに何が?

★いのちいとおし「食べ物の消化の旅」口から食道 健康増進クリニック院長・水上 治 医師 44頁

- ・食べ物を噛むこと、呑み込むこと…特に誤嚥性肺炎の予防に効果的なことは「**必読です**」

★「終の棲家をめざして」 40頁

理学療法士・田村陽子

- ・「つまんねえ」を連発の野田さんは、東京タワーの建築にも関わった大工さん。
- ・手すりの、ゆるみやドアノブの補修に的確なアドバイスをする…。物事にきちんと向き合い、田村さんが弟子として受け継ぎたいと思ったその心意気やいかに?

★谷口ももよのベジ薬膳 64頁

美味しく、楽しく、美しく

- ・「豆腐のとうもろこしチャンプルー」  
むくみ解消でからだも気分もすっきり…
- ・水の代謝が悪いと体も重く、やる気も失せる、だるい、重いもむくみのサインです。  
夏を前に体も心もすっきりさせましょう。

★「子どもたちの幸せをつくる」…自分たちで作る 草野知子(鹿児島三育小学校教師) 50頁

- ・「自分たちで作る運動会」～「自分たちで作るクラス」教師としてのリーダーシップを持ちつつ、子どもたちがクラスの一員として、クラスを自分たちで作ることとは?